

第 2 次

金沢版総合戦略

取組状況

令和 6 年10月



金 沢 市

第2次金沢版総合戦略の概要

【金沢市人口ビジョン】

2060年の金沢市の人口 国の推計 34万7千人



【自然減】合計特殊出生率：2040年 2.07に向上

【社会減】転入の増加、転出の抑制を図る



2060年の金沢市の人口 43万2千人確保
(国の推計より8万5千人増加)

【第2次金沢版総合戦略】

推進期間：令和2年度～令和5年度（4年間）

※国において、令和4年12月に「デジタル田園都市国家構想総合戦略」が閣議決定されたことをうけ、第3次金沢版総合戦略を1年前倒しして策定

4つの基本目標：各々に数値目標を設定

具体的な施策：重要業績評価指標（KPI）を設定



進捗管理：数値目標とKPIを使用し、PDCAサイクルにより効果検証・改善を実施

4つの基本目標

基本目標

1

若い世代に優しく、子育ての喜びを分かち合うまちをつくる

【数値目標】 合計特殊出生率 1.48（H30）→1.69（R6）

基本目標

2

金沢の強みを生かし、人々が愛着を持ち、集うまちをつくる

【数値目標】 市外へ就職する学生数を1割減 約2,000人（H30）→1,800人（R6）

基本目標

3

イノベーションにより、産業と雇用が創出されるまちをつくる

【数値目標】
・金沢地域の年間入込客数 1,045万人（H30）→1,089万人（R6）
・価値創造拠点施設の整備 未整備（H30）→整備（R6）

基本目標

4

周辺地域と連携し、心地よく暮らしやすいまちをつくる

【数値目標】 石川中央都市圏における連携事業数 80事業（H30）→99事業（R6）

金沢SDGsとの関わり

金沢SDGsがめざす「一人一人の市民が、未来を想像（IMAGINE）し、様々な人や組織と協働しながら行動を起こしていく」ことは、本市のまち・ひと・しごと創生を実現していく上でも不可欠な視点であることから、第2次金沢版総合戦略は、金沢SDGsの示す5つの方向性を踏まえながら、具体的な取組を示す行動計画として策定。

第2次金沢版総合戦略

基本目標

1

若い世代に優しく、
子育ての喜びを分かち合う
まちをつくる

基本目標

2

金沢の強みを生かし、
人々が愛着を持ち、
集うまちをつくる

基本目標

3

イノベーションにより、
産業と雇用が創出される
まちをつくる

基本目標

4

周辺地域と連携し、
心地よく暮らしやすい
まちをつくる



1

自然、歴史、文化に立脚した
まちづくりをすすめる

古くて
新しくて
心地よいまち



2

環境への負荷を少なくし
資源循環型社会をつくる

“もったいない”が
ないまち



3

次代を担う子供たちの
可能性を引き出す環境をつくる

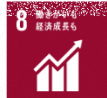
子供がゆめを
描けるまち



4

誰もが生涯にわたって
学び活躍できる社会風土をつくる

働きたいも、
生きがいも
得られるまち



5

文化や産業に革新的イノベーションが
起きる仕組みをつくる

新しい
もの、ことを
生み出すまち





基本目標

1

若い世代に優しく、子育ての喜びを分かち合うまちをつくる

【数値目標】 合計特殊出生率 1.48 (H30) → **1.35 (R4)** → 1.69 (R6)

※ R5確定値は12月頃公開予定

▼主な施策の令和5年度の実施状況▼

(1) 妊娠から出産・育児までの期間を安心して過ごすことができる環境づくり

- 本庁及び福祉健康センターのワンストップ拠点において、妊娠期から子育て期にわたる総合的な相談や支援を実施
- 子育て情報を一元的に提供する「金沢子育てお役立ちBOOK」及び「金沢子育てお役立ちウェブ」の内容充実
- こども広場の機能向上を図り、親子の交流や子育て相談の場として利用しやすい環境を整備

(3) 仕事と家庭の両立や地域活動等への参画を促進する働き方改革の推進

- 女性の再就職を促進する企業向けの女性人材確保戦略セミナーや企業とのマッチング交流会を実施
- 働き方改革に意欲的に取り組む企業を募集し、その取組への支援や取組の経過等を広く発信
- 地域の特色・資源を活かした分野や先端科学技術分野等で、産学連携の社会人向けリカレント教育プログラムを実施

(2) 結婚の希望をかなえるための環境づくり

- 市の外郭団体と連携し、各団体の特徴を生かしたイベントを開催することで、結婚や子育てに関する意欲の向上を支援



▼主なKPIの状況▼

- ・子育てアプリのダウンロード数（累計） 9,410件 (H30) → **20,618件 (R5)** → 20,000件 (R6)
- ・放課後児童クラブ受入人数 5,050人 (H30) → **5,369人 (R5)** → 5,565人 (R6)
- ・働く女性の交流会参加人数 未実施 (H30) → **57人 (R5)** → 120人 (R6)
- ・はたらく人にやさしい事業所表彰企業数（累計） 40社 (H30) → **73社 (R5)** → 70社 (R6)

基本目標

2

金沢の強みを生かし、人々が愛着を持ち、集うまちをつくる

【数値目標】市外へ就職する学生数を1割減 約2,000人（H30）→1,800人（R6）

【参考値】県外就職内定者数 2,756人（H30）→**3,018人（R5）** →2,481人（R6）

▼主な施策の令和5年度の実施状況▼

（1）高等教育機関等と連携した「学都金沢」の推進

- 学生等を対象とした地元企業経営者、若手社員との交流会や企業見学会を開催し、地元企業への就職を促進

（2）まちの魅力を生かした移住・定住の促進

- 官民連携による空き家等の活用・流通体制を構築し、移住者の受け皿の一つとなる空き家等の適切な管理及び活用・流通を促進
- 金澤町家情報館を中心とした金澤町家購入・賃貸に関する相談体制の強化



金澤町家情報館

（3）まちに愛着を持つ人材の育成

- 文化施設のフリーパス等の特典を受けられる「学生のまちパスポート」の利便性向上や周知普及を促進
- 小中学生を対象に多様な分野の芸術・文化を気軽に体験できる機会を提供
- 偉人・歴史・文化・伝統工芸をテーマとしたふるさと金沢の魅力を学ぶ体験学習ツアーの充実

（4）金沢と継続的に多様な形で関わる「関係人口」の創出・拡大

- 首都圏の学生と協働して、金沢で活躍する社会人との交流や金沢の魅力・情報を発信する「いいね金沢ゼミ」を開催し、県外の学生等と金沢のつながりを強化

▼主なKPIの状況▼

- ・住宅支援制度の活用等による県外からの移住者数（R2～6合計） 42人（H30）→**166人（R5）** →150人（R6）
- ・ジュニアかなざわ検定受検者数（R2～6合計） 6,420人（H30）→**17,342人（R5）** →31,500人（R6）
- ・「いいね金沢ゼミ」への参加人数（R2～6合計） 未実施（H30）→**284人（R5）** →180人（R6）
- ・ふるさと納税寄付受入件数 276件（H30）→**34,339件（R5）** →15,300件（R6）

基本目標

3

イノベーションにより、産業と雇用が創出されるまちをつくる

【数値目標】・金沢地域の年間入込客数 1,045万人（H30）→**1,057万人（R5）**→1,089万人（R6）
・価値創造拠点施設の整備 未整備（H30）→**供用開始（R3）**→整備（R6）

▼主な施策の令和5年度の実施状況▼

（1）金沢の文化と産学官の叡智の融合

- 最先端技術を活用した新たなビジネスや食・工芸の付加価値の創出と子供達の独創力の育成を図るため、金沢未来のまち創造館を開設
- 起業家や子供達、料理人がグローバルな視点で新たな価値の創出を図るため、海外で活動を行う者や地域住民との交流を実施



金沢未来のまち創造館

（2）持続可能な観光の振興

- 市民の地元観光や北陸三県からの誘客を促進するマイクロツーリズムを推進

（3）金沢ブランドを活用した独自産業の創出

- 飲食店と連携したキャンペーンを開催し、甘エビ、ズワイガ二等金沢港を代表する海の幸を重点的にPRすることで、ブランド力を向上
- 中心市街地や町家保存区域、里山地域の空き家等における工房開設に対し助成

（4）多様な主体との連携による新分野産業の創出

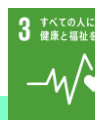
- GX・DX・福祉に関する分野や、産学連携等による新製品開発に加え、既存製品の改良に対する研究開発を支援



ITビジネスプラザ武蔵

▼主なKPIの状況▼

- ・年間宿泊客数 331万人（H30）→**335万人（R5）**→361万人（R6）
- ・「金沢かがやきブランド」認定製品数（累計） 142品（H30）→**160品（R5）**→157品（R6）
- ・海外見本市出展等への支援件数（累計） 48件（H30）→**72件（R5）**→72件（R6）
- ・新製品開発・改良製品数（累計） 80件（H30）→**106件（R5）**→110件（R6）



基本目標

4

周辺地域と連携し、心地よく暮らしやすいまちをつくる

【数値目標】石川中央都市圏における連携事業数 80事業（H30）→**97事業（R5）**→99事業（R6）

▼主な施策の令和5年度の実施状況▼

（1）圏域連携による経済・生活圏の形成

- 国際分野における専門人材ネットワークを石川中央都市圏において共有し、多文化共生、国際交流イベントを共同で開催

（2）コンパクトシティの形成

- 金沢MaaSコンソーシアムの多様な分野の会員団体等と連携し、金沢MaaSを推進
- 電動アシスト自転車の導入やポートエリアの拡充、IoTを活用した案内機能の強化等、公共シェアサイクル「まちなり」の利便性を向上しまちなかの回遊性を向上

（3）コミュニティ環境の充実

- 地域課題を解決するため、育成機能、コーディネート機能、情報提供機能を柱とした市民活動サポートセンターの運営



市民活動サポートセンター窓口

（4）元気な中山間地域の形成

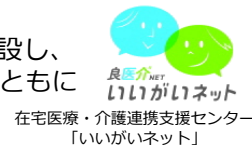


三谷さとやま交流広場

- 「三谷さとやま交流広場」において、四季に応じたイベントの開催を通して、都市住民との交流を促進
- 金沢林業大学校に林業専門コースを新設し、林業分野で活躍できる即戦力を育成

（5）あらゆる世代が健康に暮らせる地域づくり

- 在宅医療・介護連携に関する相談窓口を開設し、地域の医療・介護の資源情報を集約するとともに必要な情報をホームページ等で公開
- 介護支援に関するボランティアや地域福祉活動に関するボランティアに参加することでサービスクーポンと交換可能なポイントを得られる制度の運営



在宅医療・介護連携支援センター「いいがいのネット」

▼主なKPIの状況▼

- ・公共シェアサイクル「まちなり」利用者数 63,284人（H30）→**298,521人（R5）**→100,000人（R6）
- ・市民活動サポートセンターにおける交流や連携のマッチング数（R2～6合計） 5件（H30）→**35件（R5）**→10件（R6）
- ・コミュニティ防災士数 875人（H30）→**1,510人（R5）**→1,515人（R6）
- ・里山管理活動支援団体数（累計） 1団体（H30）→**5団体（R5）**→7団体（R6）